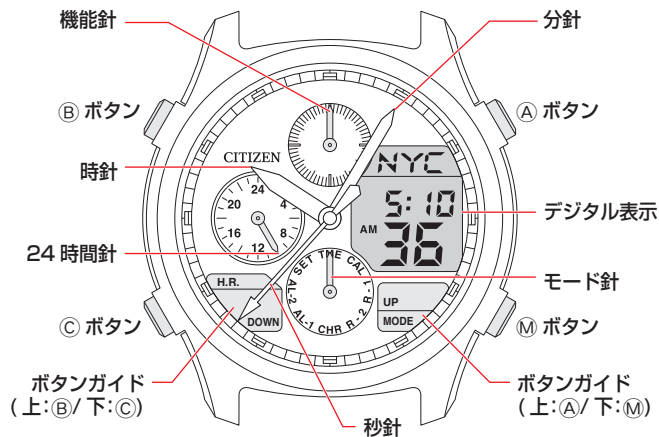


C320 簡易操作ガイド

・仕様 / 操作の詳細は、取扱説明書をご参照ください。  C320 取扱説明書

各部の名称



- ・モデルによってデザインが異なります。
- ・スケールやベゼルなど外装機能についての詳細は、弊社ホームページ (<http://citizen.jp/cs/guide/gaiso/index.html>) も併せてご覧ください。

デジタル表示や小さな針を見やすくする

時針と分針を一時的に動かします。

1. 左のボタンガイドに「H.R.」と表示されているときに、**B** ボタンを2秒間以上押し続ける
針が動き始めたら、ボタンを離します。
2. 表示が見やすくなったから、**B** ボタンを押す
針が止まります。
3. **B** ボタンを押して、終了する
針が時刻表示に戻ります。

デジタル表示の時刻を合わせる

・アナログ表示の時刻(時針/分針/24時間針)は、デジタル表示の時刻と連動します。

1. **M** ボタンをくり返し押して、モード針が「TME」を指すようにする
2. **A** ボタンまたは **C** ボタンをくり返し押して、デジタル表示に「TYO」を表示させる
・「TYO」以外を選んだときは、現地の時刻に合わせます。
3. **M** ボタンを引き出す
デジタル表示が点滅します。
・点滅している部分が、合わせる対象です。
4. **A** ボタンをくり返し押して、合わせる対象を選ぶ
・**A** ボタンを押すごとに、次のように対象が切り替わります。
サマータイム 秒 分 時 12/24時間制



5. **C** ボタンを押して、合わせる

選んだ対象の表示が変わります。

- ・「秒」を選んでいるとき: 時報に合わせて **C** ボタンを押します。
- ・「分」「時」を選んでいるとき: **C** ボタンを押し続けると、表示が連続して変わります。
- ・「サマータイム」「12/24時間制」を選んでいるとき: **C** ボタンを押すごとに、設定が切り替わります。
- ・12時間制表示では、「AM」または「PM」が表示されます。

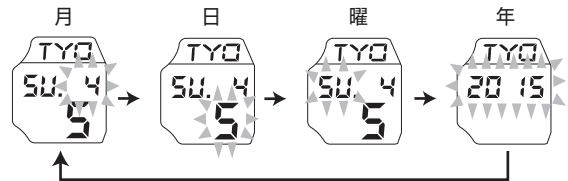
6. 手順4、5をくり返し、他の対象を合わせる

7. **M** ボタンを押し込んで、終了する

カレンダーを合わせる

この時計のカレンダーは、一度正しく設定すると、2099年12月31日まで、修正不要です。

1. **M** ボタンをくり返し押して、モード針が「CAL」を指すようにする
デジタル表示にカレンダーが表示されます。
2. **A** ボタンまたは **C** ボタンをくり返し押して、デジタル表示に「TYO」を表示させる
・「TYO」以外を選んだときは、現地のカレンダーに合わせます。
3. **M** ボタンを引き出す
デジタル表示が点滅します。
・点滅している部分が、合わせる対象です。
4. **A** ボタンをくり返し押して、合わせる対象を選ぶ
・**A** ボタンを押すごとに、次のように対象が切り替わります。



5. **C** ボタンを押して、合わせる

選んだ対象の表示が変わります。

- ・**C** ボタンを押し続けると、表示が連続して変わります。

6. 手順4、5をくり返し、他の対象を合わせる

7. **M** ボタンを押し込んで、終了する

アナログの時刻とデジタルの時刻を入れ替える

・この時計のアナログ表示の時刻は、直接時計合わせをすることができません。
表示したい地域の時刻を一度デジタル表示に表示させ、デジタル表示の時刻をアナログ表示の時刻と入れ替えて表示させます。

1. **M** ボタンをくり返し押して、モード針が「TME」または「CAL」を指すようにする
2. **A** ボタンと **C** ボタンを同時に押す
デジタル表示の時刻とアナログ表示の時刻(時針/分針/24時間針)が入れ替わります。

ワールドタイムを使う

- ① ① ボタンをくり返し押して、モード針が「TME」または「CAL」を指すようにする
 - ・「CAL」を選んだときは、カレンダー表示になります。
- ② ② ボタンまたは ③ ボタンを押して、地域を選ぶ

選んだ地域の時刻またはカレンダーが、デジタル表示に表示されます。

地域一覧

略称	代表地域	時差	略称	代表地域	時差
UTC	協定世界時	0	TYO	東京	+9
LON	ロンドン		SYD	シドニー	+10
PAR	パリ	+1	NOU	ヌーメア	+11
ROM	ローマ		AKL	オークランド	+12
IST	イスタンブール	+2	HNL	ホノルル	-10
MOW	モスクワ	+3	ANC	アンカレジ	-9
DXB	ドバイ	+4	LAX	ロサンゼルス	-8
KHI	カラチ	+5	DEN	デンバー	-7
DAC	ダッカ	+6	CHI	シカゴ	-6
BKK	バンコク	+7	NYC	ニューヨーク	-5
SIN	シンガポール	+8	CCS	カラカス	-4
HKG	香港		RIO	リオデジャネイロ	-3

- ・一覧表の時差は、UTC（協定世界時）からの時差です。
- ・時差は、国や地域の事情により変更される場合があります。

表示する地域を設定する

表示される地域名をスキップさせることができます。

- ① ① ボタンをくり返し押して、モード針が「SET」を指すようにする
- ② ② ボタンを引き出す

デジタル表示が点滅します。
- ③ ③ ボタンまたは ④ ボタンをくり返し押して、地域を選ぶ
- ④ ④ ボタンを押して設定する



SET:
地域が表示される
ようになります。



OFF:
地域が表示されな
くなります。

- ・④ ボタンを押すごとに、「SET」と「OFF」が切り替わります。

5. 手順 3、4 をくり返し、他の地域を設定する
6. ① ボタンを押して、終了する
 - ・モードを「TME」または「CAL」にします。

サマータイムを表示させる

ワールドタイムの地域ごとにサマータイムを表示させることができます。

- ・地域として「UTC」を選ぶと、サマータイムを表示させることはできません。

- ① ① ボタンをくり返し押して、モード針が「TME」を指すようにする
- ② ② ボタンまたは ③ ボタンをくり返し押して、サマータイムを表示させたい地域を選ぶ
- ③ ③ ボタンを引き出す

デジタル表示が点滅します。

4. ③ ボタンを押す

- ・③ ボタンを押すごとに、「SUMMER」が点灯/消灯して、サマータイムのオン/オフが切り替わります。



5. ① ボタンを押して、終了する

アラームを使う

地域の時刻に合わせてアラーム音が鳴ります。

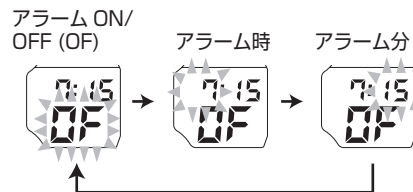
- ・アラームは「AL-1」、「AL-2」にそれぞれ設定することができます。

- ① ① ボタンをくり返し押して、モード針が「AL-1」または「AL-2」を指すようにする

現在設定されている地域とアラーム時刻が表示されます。
- ② ② ボタンまたは ③ ボタンを押して、地域を選ぶ
- ③ ③ ボタンを引き出す

デジタル表示が点滅します。

 - ・点滅している部分が、設定する対象です。
- ④ ④ ボタンをくり返し押して、設定する対象を選ぶ
 - ・④ ボタンを押すごとに、次のように対象が切り替わります。



5. ③ ボタンを押して設定する

- ・「ON」「OFF」を選んでいるとき：③ ボタンを押すごとに、設定が切り替わります。
- ・「時」「分」を選んでいるとき：③ ボタンを押し続けると、表示が連続して変わります。

6. 手順 4、5 をくり返し、他の対象を設定する

7. ① ボタンを押して終了する

- ・モードを「TME」または「CAL」にします。

アラーム音をとめるときは

- ①、②、③ のいずれかのボタンを押します。
- ・アラーム音は、15 秒間鳴ります。

クロノグラフを使う

1/100 秒単位、最大 24 時間まで計測できます。

- ・最初の 1 時間は、秒針がクロノグラフ秒、機能針がクロノグラフ分を表示します。（モードが「CHR」のとき）
- ・他のモードに切り替えても計測は継続されます。

1. ① ボタンをくり返し押して、モード針が「CHR」を指すようにする

デジタル表示に、クロノグラフが表示されます。

2. クロノグラフを使う

スタート/ストップ：② ボタンを押します。

- ・計測中に ③ ボタンを押すと、経過時間（スプリットタイム）が 10 秒間表示され、「SPLIT」が点滅します。

リセット：ストップ中に、④ ボタンを押します。

- ・クロノグラフ終了後は、必ずリセットを行い、モードを「TME」にします。

レースタイマーを使う

ヨットレースでの使用を想定した、最大 60 分のタイマーです。この時計では、「R-1」と「R-2」の、2 種類のレースタイマーを使うことができます。

- ・「R-1」は、設定した時間のカウントダウンを、3 回繰り返します。
- ・「R-2」は、設定した時間のカウントダウン後、クロノグラフでの計測が始まります。
- ・レースタイマーの時間設定は次のようになっています。
60～10 分間：5 分単位
10 分間未満：6 分、5 分、3 分、1 分
- ・カウントダウンの残り時間ごとに、予告音が鳴ります。
10～1 分：各分
1 分～10 秒：50 秒、40 秒、30 秒、20 秒、10 秒
10 秒未満：5 秒、4 秒、3 秒、2 秒、1 秒
- ・カウントダウン終了後、タイムアップ音が約 5 秒間鳴ります。
- ・秒針がレースタイマーの秒、機能針がレースタイマーの分を逆回転で表示します。(モードが「R-1」/「R-2」のとき)
- ・他のモードに切り替えても、カウントダウンや計測は継続されます。

レースタイマーの設定時間を変更する

1. **M** ボタンをくり返し押して、モード針が「R-1」または「R-2」を指すようにする
デジタル表示に、レースタイマーが表示されます。
2. **M** ボタンを引き出す
デジタル表示で、分表示が点滅します。
3. **C** ボタンを押して、タイマーの時間を設定する
・**C** ボタンを押し続けると、表示が連続して変わります。
4. **M** ボタンを押し込んで、終了する

「R-1」(レースタイマー 1) を使う

1. **M** ボタンをくり返し押して、モード針が「R-1」を指すようにする
 2. **A** ボタンを押す
レースタイマーのカウントダウンが始まります。

スタート/ストップ：**A** ボタンを押します。
・タイマー作動中に **C** ボタンを押すと、設定した時間から改めてカウントダウンを始めます。

リセット：ストップ中に、**C** ボタンを押します。
- ・レースタイマーを使い終わったら、モードを「TME」にします。

「R-2」(レースタイマー 2) を使う

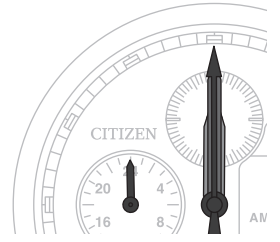
1. **M** ボタンをくり返し押して、モード針が「R-2」を指すようにする
 2. **A** ボタンを押す
レースタイマーのカウントダウンが始まります。

スタート/ストップ：**A** ボタンを押します。
・タイマー/クロノグラフ作動中に **C** ボタンを押すと、設定した時間から改めてカウントダウンと計測を始めます。

リセット：ストップ中に、**C** ボタンを押します。
- ・「R-2」のクロノグラフは、最大 24 時間、1 秒単位です。スプリット表示はできません。
- ・クロノグラフ計測の最初の 1 時間は、秒針がクロノグラフ秒、機能針がクロノグラフ分を表示します。(モードが「R-2」のとき)
- ・クロノグラフ終了後は、必ずリセットを行い、モードを「TME」にします。

針の基準位置を確認する

1. **M** ボタンをくり返し押して、モード針が「CHR」を指すようにする
2. **M** ボタンを引き出す
機能針、24 時間針、時針と分針が、現在の基準位置に移動します。
正しい基準位置：
すべての針が 12 時の位置
・現在の基準位置が正しい基準位置と異なるときは、「針の基準位置を修正する」に従って、基準位置を修正します。
3. **M** ボタンを押し込んで、終了する



針の基準位置を修正する

1. **M** ボタンをくり返し押して、モード針が「CHR」を指すようにする
2. **M** ボタンを引き出す
機能針、24 時間針、時針と分針が、現在の基準位置に移動します。
3. **B** ボタンをくり返し押して、修正する対象を選ぶ
・**B** ボタンを押すごとに、次のように対象が切り替わり、デジタル表示に表示されます。
「F_H」(機能針) → 「H.R」(時針 / 分針 / 24 時間針) → 「SEC」(秒針) → (始めに戻る)
4. **A** ボタンまたは **C** ボタンを押して、修正する
・ボタンを押し続けると、針が連続して回転します。
5. 手順 3、4 をくり返し、他の対象を修正する
6. **M** ボタンを押し込んで、終了する

オールリセットを行う

・クロノグラフやレースタイマーはリセットされます。

1. **M** ボタンを引き出す
2. **A**、**B**、**C** ボタンを同時に押す
ボタンを離すと、液晶表示がすべて点灯します。
・次の手順から、針の基準位置の修正をします。
3. **B** ボタンを押す
デジタル表示に「F_H」と表示されて、針の基準位置が修正できるようになります。
正しい基準位置：すべての針が 12 時の位置
4. **B** ボタンをくり返し押して、修正する対象を選ぶ
・**B** ボタンを押すごとに、次のように対象が切り替わり、デジタル表示に表示されます。
「F_H」(機能針) → 「H.R」(時針 / 分針 / 24 時間針) → 「SEC」(秒針) → (始めに戻る)
・**A** ボタンまたは **C** ボタンを押して、修正する
・ボタンを押し続けると、針が連続して回転します。
5. 手順 3、4 をくり返し、他の対象を修正する
6. **M** ボタンを押し込んで、終了する

オールリセットのあとは

オールリセットのあとは、デジタル表示の時刻合わせ、カレンダー合わせ、アラームの設定を行ってください。